

事務事業名		予防接種事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康推進課		
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	健康推進G	課長名	土屋 悦子		
	施策名	〈20〉健康づくりの推進		担当者名	陶山 洋子	電話番号	0854-40-1045 (内線) 2143		
	目的対象	市民	意図	心身ともに健康で暮らす。					
	基本事業	〈058〉病気の早期発見と重症化予防・感染症の予防		予算科目	0:1:2:0:0:2	大事業名	保健予防事業		
目的対象	市民	意図	病気を早期に発見し、重症化を予防する。感染症を予防する。				0:5:2:0:0:3	中事業名	予防接種事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
予防接種法で定められた定期予防接種の対象年齢に該当する乳幼児・学童・高齢者	予防接種を受けることにより、感染症の発生や、蔓延、罹患時の重症化を防止する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・定期予防接種:BCG/不活化ポリオ/四種混合(百日咳・破傷風・ジフテリア・ポリオ)/三種混合(百日咳・破傷風・ジフテリア)/二種混合(ジフテリア・破傷風)/MR(麻しん・風しん)/日本脳炎/子宮頸がん予防/ヒブ/小児用肺炎球菌/水痘/B型肝炎/高齢者インフルエンザ/高齢者肺炎球菌/MR(第5期)/ロタウイルス ・風しん追加的対策事業に伴う、抗体検査・任意のワクチン接種費用の一部助成:風しん
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①個別予防接種 A類予防接種 【市内】15医療機関 【市外】県医師会集合契約参加医療機関 B類予防接種(高齢者肺炎球菌・高齢者インフルエンザ) 個別にて随時契約 【市外】県医師会集合契約参加医療機関 ・高齢者肺炎球菌対象者への個別通知 ②任意予防接種の助成(風しん12件)	H24年9月から医療機関での個別接種で実施。H25年度から子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンが定期化。H25年11月からは小児用肺炎球菌のワクチンが7価から13価に変更。H26年10月水痘、高齢者肺炎球菌ワクチンの定期化。H28年10月B型肝炎定期化。R2年10月ロタウイルスワクチン定期化、あわせて接種間隔の変更を行った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 2期麻しん風しん接種率	%	95.2	95.6	92.4	100.0
イ BCG接種率	%	96.8	94.5	83.7	100.0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
報酬費0円、旅費0円、需用費778千円、役務費646千円、事業委託78,337千円、負担金430千円、補助金348千円	財源内訳	国庫支出金	千円	2,364	1,880	2,890	2,400
		県支出金	千円	17	1,148	323	322
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	73,508	83,635	77,326	99,022
事業費計		千円	75,889	86,663	80,539	101,744	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	予防接種法は、予防接種の実施によって感染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的とされており、予防接種事業を実施することにより感染症による患者の発生や死亡者の大幅な減少をもたらしている。
② 事業実施するうえでの課題	予防接種法に基づき適切に行っている。国の法改正等にも適切に対応している。市民への周知の工夫を行う必要がある。接種環境を整えてきているが、接種率が伸びない。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・予防接種法に基づき適切に実施する。 ・接種率向上のための環境を整える。 ・市民への周知を工夫する。